



2024-2025年度

会長テーマ

えき じゃさん ごう

益者三樂の集いを ~みんなに会いたいと思えるクラブに~

題字 常光 英子

会長 松尾 宏 幹事 中村伸之

例会 ■ 木曜日 / 12:30~13:30 会場 ■ 三次商工会議所 2F 事務局 ■ 三次商工会議所内 〒728-0021 三次市三次町1843-1  
TEL.0824-62-3127 FAX.0824-62-9580 E-mail:m-rc@p1.pionet.ne.jp URL : http://miyoshi-rc.org/

国際ロータリー会長 ステファニー・A・アーチック

国際ロータリー第2710地区 ガバナー 上田 文雄 (岩国 RC)



The Magic of Rotary

ロータリーの  
マジック

アメリカ合衆国ペンシルベニア州  
(マクマリー RC)



行動しよう未来のために~変革に取り組もう~

各クラブで達成すべき主な目標

- クラブの3年計画の作成
- 奉仕活動計画の作成
- ロータリー財団支援
- 会員増強、クラブ文化の見直し
- 米山記念奨学会への支援



## 2025年4月17日 第2817回例会

本日のプログラム

青少年奉仕部会担当例会：2024-25年度RYLA報告

次回例会日/会場

4月24日(木) 12:30~/三次商工会議所(ハイブリッド形式)

次回プログラム予告

小林RC友好部会担当例会

2025年4月10日例会記録-第2816回-

4月17日発行：第34号



会長挨拶：松尾 宏

皆さん、こんにちは。

4月から米山奨学生の新年度が始まります。今年は継続も含めた採用人数が昨年より5名増え、27名になり合格者の国籍は昨年の11か国から14か国に増えました。中にはシリアやミャンマーなど内戦問題を抱えている国の方もいます。

特にシリアの方は、卒業後は元の職場である現地の国連機関に戻り、シリアの復興に貢献されたいそうです。昨年度も平和への貢献を目的に留学に来たインドの方もいました。今後もできるだけ幅広い国の米山の目的に合った優秀な学生を推薦してもらえるように、仕組みを見直していけるそうです。

4月は環境月間です。2021年の7月から、国際ロータリーの7つ目の重点分野に追加されました。昨年の地区大会では会長幹事会の基調講演として、東京大学未来ビジョン研究センターの江守正多教授による「気候危機のリスクと社会の大転換」の講演がありました。地球温暖化が取り返しのつかない危険な状態に近づいているので、社会の大転換が必要とのお話でした。

その後のニュースで昨年の世界の平均気温は、2015年に採択されたパリ協定の産業革命以前の世界の平均気温プラス1.5度以内に抑えるという努力目標値を超えたと報道されました。昨年の異常な暑さから、温暖化の進行が実感できるようになってきています。

近年、当地区内をはじめ東北など各地で大規模な洪水が頻発するようになってきました。大規模な洪水や長期の干ばつなどの異常気象により、住んでいる土地を離れなくてはならなくなった人達のことを気候難民といいます。2020年時点では世界で3000万人と見積もられていますが、2050年には2億人を超えると世界銀行では予測しています。一方、12億人になるとの予測もあります。このような事態を少しでも改善するために、地球温暖化に対して何かできることがないか検討してほしいと思います。

環境ということでは、マイクロプラスチックの問題もあります。海に流れ出たプラスチックは小さく砕かれ、魚の体内に残り、生態系に影響があると言われていて、人間の体内からも確認されていて、病気の原因になると言われています。

ごみについては3R [Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル)] と言われてきましたが、現在は3R+Renewable (リニューアブル) と言われるようになってきています。つまり、従来のごみを減らす取り組みだけではなく、再生可能な資源に置き換える取り組みが必要ということなんです。

残念ながらアメリカでは紙のストローを使わずプラスチックに戻せという大統領令が出ました。これは現状の技術にはまだ課題があることを示しています。このような状況だからこそ、皆さんの家庭や企業でも環境分野に関心を持って、できることに取り組んでほしいと思います。

そして、できれば環境分野のパートナーを探して、環境に対する取り組みを広げてほしいと思います。それが、ロータリーの輪を広げることにもつながります。

本日もロータリーを楽しみましょう。

## 例 会 次 第

【点 鐘】 松尾 宏 会長      【ソング】 「君が代」 「それでこそロータリー」

### 出席報告：中村伸之 幹事

第2814回(3月27日)の出席報告					第2816回(4月10日)の出席状況			
会員数	出席者	免除者	Make-up	出席率	会員数	出席者	欠席	出席率
41	28	1	1	72.5%	41	33	8	80.49%

Make-up内訳：花本会員(11/24 防災フェア)

### S A A 報告：金本尚也 S A A

スマイル		計 11,000円
氏 名	内 容	
松尾 宏	本日の卓話、福品さん宜しくお願いいたします。	
藤原 博已	今年の田植え来週よりスタートです。適正な価格で安定供給できるよう頑張ります。	
花本 好正	広田支局長、当法人のミャンマー地震支援の取り組みを取り上げていただき、ありがとうございました。	
入会月	広田恭祥	
創業月	藤原博已、藤後敏彦、常光和信	
本人誕生月	藤後敏彦(4.12)	
結婚記念月	児玉敏宏、藤後敏彦	

### 記念品贈呈



【配偶者誕生月】

藤井 憲昭会員 水越 ひろ子会員

## プログラム：新入会員卓話



### 福品 博美会員

- ・ 入会日：2024年10月3日
- ・ 事業所名：司法書士法人 広島北部司法事務所
- ・ 役職：顧問
- ・ 職業分類：司法書士

### 「74歳にして何故RCへ再入会？」

老後の人生を今一度考えて見ました。 2025.4.10

司法書士 福品 博美

#### ■自己紹介:

- 生年月日 1950年9月10日(74歳)

#### ◎学歴

- 広島県立上下高等学校普通科(1968卒業)
  - 大阪工業大学工学部(1972卒業)
- Operations Research(作戦研究)専攻  
Simulation Tec(シミュレーション研究)

#### ■これからの生き方について考えたこと:(本題)

- 若い頃は「自分が本当にしたい事は何だろう。自分の人生の夢(目標)は何だろう。」「どんな風に生きれば、自分の可能性を活かすことができるだろう。」と考へ「社会的に認められること」「地位を得ること」ができれば安定した幸福な生活がやってくると信じて頑張ってきました。(自己実現の問い)
- けれどもそれを手に入れてしまった今、自分の人生には、大切な「何か」が欠けているのではと考えるようになりました。平均余命で言えば後5~10年の間生きるとすれば、この先の生き方は今までとは違うやり方とと思いました。

- 結論としては、社会から私に要請のあるものは基本的に全て受け入れようということに致しました。実際、私が悩むより事業承継者の方や地元の皆さんからの要請があり勤めることになりましたし、ちょうどその頃RCからも再入会の要請がありました。当初、私自身は要請があるのであれば入会したいが、会費等もかかるので法人代表者に正直に話しました。是非入会してください。との返事でした。即、入会の手続きを取りました。先のことは一寸たりとも分かりません。これがこの世の決まりです。いかなる事があろうとも、何が私に求められているのかを考えて動くようになりました。

- RCの会員となり、良かったなと思っています。前述の様な悩みを持っていた私ですが、職業奉仕の精神を軸にしたRCの規範は「人生で自分は何を求められているか」に通じるところがあるからです。入会をしたとき、また、新入会員研修を受けた時、思わずスマイル献金をしたのも私自身がこれからの人生の方向性を与えられたと感じたからです。又、元三菱マンとしても新人研修で岩崎小弥太さんの言葉を取り上げられていたのを見て感動も致しました。

